

令和8年度第1回碧南市文化財保護審議会次第

日 時 令和8年5月12日（火）午後1時30分から

場 所 碧南市藤井達吉現代美術館 地下1階 多目的室B

1 あいさつ

2 委員の委嘱について

3 委員及び事務局職員の紹介

4 副会長の指名について

5 議題

協議事項

(1) 令和8年度事業計画（案）について（資料1）

(2) 令和8年度文化財展について（資料2）

6 その他連絡事項

令和8年度 碧南市文化財保護審議会委員名簿

(敬称略)

職 名	氏名
会 長	北村 恒
委 員	曲田 浩和
委 員	岩田 敏也
委 員	石川 博章
委 員	兵藤 俊宏
委 員	磯貝 国雄
委 員	林口 宏

※任期2年（令和8年4月1日～令和10年3月31日）

事務局名簿（教育部藤井達吉現代美術館文化財係）

職 名	氏名
教育長	小澤 徹
部 長	岡本 和雄
副館長	木村 理恵子
事務長	山田 光則
課長補佐	豆田 誠路
学芸員	都築 茉莉
市史資料調査員 (会計年度任用職員)	伊豫田 祥子
市史資料調査員 (会計年度任用職員)	原田 朋浩
学芸員 (会計年度任用職員)	加藤 大地
事務員 (会計年度任用職員)	木村 仁美
事務員 (会計年度任用職員)	深谷 和紀

令和8年5月～

事務局 住所：〒447-0847 碧南市音羽町1丁目1番地 碧南市藤井達吉現代美術館
TEL：0566-48-6602
FAX：0566-48-6603

市史資料調査室
住所：〒447-0872 碧南市源氏神明町2番地 碧南市民図書館中部分館2階
TEL：0566-41-4566
FAX：0566-41-1984

令和 8 年度事業計画（案）

1 文化財保護審議会開催事業

文化財の保護・活用に関する重要な事項を、調査・審議をする。

- (1) 定例会（3回：①5月12日（火）、②10月頃、③3月頃）
- (2) 臨時会
- (3) 委員視察研修（2月頃）

2 市史資料調査事業

市史資料等の収集・整理、調査などを行う。

- (1) 市史料第76集発行
 - ア 内容 史料翻刻 大浜（下の宮）熊野権現神社領概要書上「神領巻」
- (2) 市史資料収蔵品展の開催
 - ア テーマ スポーツから見た碧南 ―写真でたどるまちの記憶―そして アジア大会へ
 - イ 会 期 令和8年8月1日（土）～8月30日（日） 月曜日休館
 - ウ 会 場 文化会館 1階 展示室2
 - エ 主 催 市・市教育委員会
 - オ 共 催 市スポーツ課（予定）
- (3) ^{こもんじょ}古文書入門講座
 - ア 開催日 令和8年8月から9月頃（全5回程度）
 - イ 内 容 江戸時代の^{はんぼん}版本や古文書などを解説する。
 - ウ 会 場 藤井達吉現代美術館 地下1階 多目的室B
- (4) 広報へきなん（偶数月号）に「碧南の歴史へのいざない」を連載

3 文化財調査事業

市内に保存・伝承されている文化財を調査・研究し、必要に応じて指定を行う。また文化財展等を通じて、広く市民に文化財に対する理解と関心を高めるよう努める。

- (1) 文化財の調査・研究
 - ア 歴史的建造物調査
 - (ア) 実施時期・場所 9月頃／検討中
 - (イ) 内容 実測、写真撮影、調書作成等

- (2) 市指定文化財の新指定 随時
- (3) 文化財の保護に対する啓発事業

ア 文化財展の開催

- (ア) テーマ 加藤まさみさんが見た昭和のへきなん
～なつかしのふるさと風景画×市所蔵写真から～
- (イ) 会 期 令和8年8月1日（土）～8月30日（日） 月曜日休館
- (ウ) 会 場 文化会館 1階 展示室1
- (エ) 内 容 加藤正巳氏（1932-2017）の原画（市秘書課等が所蔵）を紹介し、描かれた内容に沿った市所蔵写真等を併せて展示することで、昭和の碧南の歴史を再構築する。

イ 文化財防火デー行事の実施

- (ア) 実 施 日 令和9年1月26日（火）午後2時から
- (イ) 実施内容 防火点検 防火設備の点検及び文化財管理状況の確認
消火訓練 碧南消防署員及び関係者の協力のもとに実施
- (ウ) 実施場所 西端地区（調整中）

4 指定文化財への補助事業

碧南市文化財保存事業補助金交付規程及び碧南市伝統文化保存継承事業補助金交付規程に基づき、指定文化財の保存を支援する。

(1) 市文化財保存事業補助金

補助対象事業	予算措置額
称名寺所蔵県指定文化財の管理（文化財収蔵庫警報設備維持）	192,456円
「 <small>かほ</small> 霞浦神社のケヤキ」の保存（維持）	141,000円
<small>けんぽんちやくしよくしゃ かさんぞんぞう</small> 絹本著色釈迦三尊像（国指定重要文化財）の修理	452,880円
<small>いごやならび なんざん やとりづか</small> 熊野神社 射小屋並に南山矢取塚（県指定有形文化財）の修理	292,486円
<small>もくぞうしょうかんのん ぼさつりゅうぞう</small> 木造聖観音菩薩立像（県指定有形文化財）の修理	266,310円

(2) 市伝統文化保存継承事業補助金

補助対象事業	予算措置額
チャラボコ保存継承事業（碧南チャラボコ連合保存会）	200,000円
<small>だし はやしさんぼ</small> 山車からくり囃子三番そう保存継承事業（大浜中区山車保存会）	80,000円
囃子三番そう保存継承事業（鶴ヶ崎区山車保存会）	80,000円

(3) 付記

- ア 絹本著色釈迦三尊像（林泉寺所有、国指定重要文化財）の修理
- (ア) 修理期間 令和7年4月1日～令和9年3月31日（2か年）
 - (イ) 修理場所 京都国立博物館 文化財保存修理所（京都市東山区）
 - (ウ) 修理事業者 株式会社光影堂（京都市下京区）
 - (エ) 修理事業概要・画像
 - (オ) 付記 国庫補助、縣市随伴補助のほか、「紡ぐプロジェクト」文化財維持・修理助成事業助成あり。
- イ 熊野神社 射小屋並に南山矢取塚（熊野神社所有、県指定有形文化財）の修理
- (ア) 目的 南山大壁全体に損傷や、所々にひび割れ、欠損が進行してきた。このため左官工事を実施することで大壁の劣化を復旧する。
 - (イ) 修理期間 令和8年4月10日～9月30日
 - (ウ) 修理事業者 中島左官株式会社（江南市）
 - (エ) 修理内容 南山大壁の左官工事
- ウ 木造聖観音菩薩立像（称名寺所有、県指定有形文化財）の修理
- (ア) 目的 近年徐々に像の前傾が進みつつあり、転倒及び損壊が危惧される状態であるため、本体及び台座・光背を修理する。
 - (イ) 修理期間 令和8年4月1日～令和9年1月31日
 - (ウ) 修理事業者 愛知仏像修復工房 横川耕介氏（尾張旭市）
 - (エ) 修理内容 本体は、^{はざめ}矧目に緩みがある部分を解体し、^{はぎめん}矧ぎ面を清掃のうえ組み直す（表面に彩色下地層の剥落止めを施す）。台座は、^{かまち しんぼ}框を新補するとともに、既存の台座を水平にもどす。また心棒をより太いものへ一新し、^{しんぼう}框の中央より立ち上げる仕様とする。光背は、軸棒を框より立ち上げる仕様とする。

5 施設維持管理事業

大浜陣屋広場、旧大浜警察署の維持・管理を行う。

6 歴史系企画展開催事業

- (1) 名称 ^{しょうみょうじ}称名寺と^{じしゅう}時宗の宝物展
- (2) 会期 令和9年1月23日（土）～2月28日（日） 午前10時～午後5時
- (3) 会場 藤井達吉現代美術館 2階展示室、1階展示室3
- (4) 主催 市・市教育委員会・藤井達吉現代美術館

(5) 協力 文化財保護審議会

(6) 観覧料 一般600円 高大生480円 中学生以下無料

(7) 内容 称名寺は、創建が室町時代に遡る碧南市の古刹である。同寺は一遍いっぺんを開祖とする時宗の三河地方の拠点で、残された連歌れんがから徳川家康の幼名「竹千代」の命名を伝える地として知られている。本展では、称名寺に伝わる絵画、彫刻、書跡、工芸、歴史資料の宝物や時宗に関する資料を一挙に紹介する。

協議事項(2) 令和 8 年度文化財展について

- 1 会期 令和 8 年 8 月 1 日（土）～8 月 3 0 日（日） 月曜日休館
- 2 会場 碧南市文化会館 1 階 展示室 1
(展示室 2 で市史資料収蔵品展「スポーツから見た碧南」を同時開催予定)
- 3 テーマ 加藤まさみさんが見た昭和のへきなん
～なつかしのふるさと風景画×市所蔵写真から～
- 4 内 容 加藤正巳氏（1932-2017）の原画（市秘書課等が所蔵）を紹介し、描かれた内容に沿った市所蔵写真等を併せて展示することで、昭和の碧南の歴史を再構築する。
- 5 展示案
- 6 出品候補作品等
 - (1) 加藤まさみ画 なつかしのふるさと風景画 3 2 点（市所有 2 4 点、個人所有 8 点）
 - (2) 市所蔵写真等（パネル展示）
 - (3) その他資料（松江渡船場関係資料・市所蔵）